

★

Q

ゼロカーボンシティとして取り組んではどうか。

A

ゼロカーボンシティを宣言する予定

★

Q

小学校等の在り方の検討について、なぜこの時期なのか。

A

複式学級が複数年続く学校がある中、方向性を見定めていく必要があると判断した。

★

Q

出生数が10年前より4割減少したことへの見解は。

A

過去30年以上減少し続けている。未婚の増加、晩婚化、合計特殊出生率の低下等、さまざまなことが要因。

★

Q

任期最後の予算への思いと2期目について伺う。

A

三条市の長所はさらに伸ばし、課題にはしっかり向き合っている内容と位置付け。その後のことは、思いを巡らせているが、しかるべき時に伝える。

★

Q

三條市の長所はさらに伸ばし、課題にはしっかり向き合っている内容と位置付け。その後のことは、思いを巡らせているが、しかるべき時に伝える。

A

三條市の長所はさらに伸ばし、課題にはしっかり向き合っている内容と位置付け。その後のことは、思いを巡らせているが、しかるべき時に伝える。

★

Q

三條市の長所はさらに伸ばし、課題にはしっかり向き合っている内容と位置付け。その後のことは、思いを巡らせているが、しかるべき時に伝える。

A

三條市の長所はさらに伸ばし、課題にはしっかり向き合っている内容と位置付け。その後のことは、思いを巡らせているが、しかるべき時に伝える。

Check!

3月定例会では4会派が大綱質疑を行いました。

大綱質疑

★

Q

プロジェクトシンカの令和6年度における取り組みと、これまでの成果は。

A

子育て支援課をモデル課とし、予算を伴わない改善策、事務事業の洗い出しを実施してきた。令和6年度は、各所管において改善策を実施し、組織全体が最適化できるよう努める。

★

Q

ひとり親世帯に対する就業に向けた資格取得の支援とはどのようなものか。

A

ひとり親への支援は、子どもに比べ十分ではない。自立支援教育訓練給付金を拡充し、経済的な自立を促進する。

★

Q

国道289号八十里越開通後の通過点にならないための取り組みとしていい湯らていのリニューアルを挙げているが、なぜいい湯らていなのか。

A

八十里越を通って来て最初の観光拠点であり、一定の敷地面積、施設規模を有し、集客的要素をさらに加えられる余地がある。地域活性化の一大プロジェクトとしたい。

★

Q

定はない。

A

定はない。

★

Q

1号 令和6年度 三條市一般会計予算 経常収支比率が100%を超えて

A

対象者は、Uターン者、三條市立大 学または三條看護 医療・歯科衛生 専門学校を卒業した人で、市内に住所を有し、市内の事業所等に勤務する40歳未満の人。

★

Q

JR信越本線牛ヶ島踏切の拡幅について、開通時期、工事期間の交通規制、児童生徒の安全確保はどのような予定になっているか。

A

JR東日本より、令和6年度から工事に着手し、令和7年度末頃に開通との見通しが示されている。

★

Q

JR信越本線牛ヶ島踏切の拡幅について、開通時期、工事期間の交通規制、児童生徒の安全確保はどのような予定になっているか。

A

JR東日本より、令和6年度から工事に着手し、令和7年度末頃に開通との見通しが示されている。

★

Q

万博首長連合負担金が増額されている。このまま同連合に支出を続けることに疑問だ。市の見解は。

A

万博出展の必要経費等を含むため増額となった。万博は、国内外から

★

Q

ふるさと三條応援寄附金について、退職する澤CMOの評価と今後の対応、令和5年度の見込額と令和6年度の想定額は。

A

評価は、「結果を残した」に尽きる。事業者と信頼関係を構築し、返礼品の分野や種類を拡大することで三條製品、農産物等の魅力を全国に発信した。今後アドバイザーを受けるための費用を計上している。

★

Q

令和5年度は43億円程度を見込み、令和6年度は35億円を想定。

A

令和5年度は43億円程度を見込み、令和6年度は35億円を想定。

議 案 賛 否 一 覧										○：議案に対して賛成　×：議案に対して反対						
議 案					会 派 名 (下段は所属議員数)					清 風	自 由 ク ラ ブ	日 本 共 産 党 議 員 団	公 明 党 議 員 団	無 所 属	議 決 結 果	
区 分	番 号	件 名	概 要			審査した委員会	9	7	3	2	1					
〔市長提出〕																
条例	議第30号	三条市給水条例の一部改正について	水道法の一部改正に伴い、規定の整理を行うため、必要な改正を行うもの 施行期日：令和6年4月1日			経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決				
	議第31号	市道路線の認定及び変更について	認定路線 変更路線	1路線 1路線	延長 延長(増加分)	846.6m 1,063.8m	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決			
	議第32号	財産の無償貸付けについて	下田地域の医療体制等確保対策事業の用に供するため、次のとおり財産を無償貸し付けするもの 建物：三条市下田保健センター 鉄筋コンクリート造　地上2階建て 貸し付け面積　267.27㎡ 土地：三条市荻堀1183番1ほか2筆 貸し付け面積　145.52㎡ 無償貸し付けの相手方：三条市荻堀1182番地1 医療法人社団陽心会　理事長　池上敬一 無償貸し付けの期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日まで			市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	同意				
	議第33号	長岡市及び三条市における公の施設の相互利用に関する協定の一部変更について	平成29年3月30日付けで長岡市と三条市との間に締結した公の施設の相互利用に関する協定の対象施設について、三条市歴史民俗産業資料館別館を追加することなどから、協定の一部を変更するもの			総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決				
	議第34号	見附市及び三条市における公の施設の相互利用に関する協定の一部変更について	平成29年3月30日付けで見附市と三条市との間に締結した公の施設の相互利用に関する協定の対象施設について、三条市歴史民俗産業資料館別館を追加することから、協定の一部を変更するもの			総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決				
その他	議第35号	三条市、燕市、加茂市、田上町及び弥彦村並びに新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合の公の施設の相互利用に関する協定の一部変更について	令和元年12月20日付けで燕市、加茂市、田上町および弥彦村ならびに新潟県三条・燕総合グラウンド施設組合と三条市との間に締結した公の施設の相互利用に関する協定の対象施設について、三条市歴史民俗産業資料館別館を追加することなどから、協定の一部を変更するもの			総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決				
	報第1号	専決処分報告について (三条市税条例の一部改正について)	地方税法等の一部改正に伴い、本市においてもこれに準じ、必要な改正を行ったもの 専決処分日：令和6年2月26日 施行期日：公布の日			総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	承認				
	報第2号	専決処分報告について (令和5年度三条市一般会計補正予算)	令和6年能登半島地震により被害を受けた被災者等への支援や公共施設の災害復旧事業などに係る経費のほか、国の補正予算による交付金を活用して行う、物価高騰の影響を受ける低所得世帯に対する給付金の給付に要する経費について、必要な予算措置を行ったもの 補正額　4億7,138万9,000円 補正後の額　553億2,072万2,000円 専決処分日　令和6年1月25日			総務文教常任委員会 市民福祉常任委員会 経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	承認				
	〔議員発案〕															
	その他	議員発案第1号	特別委員会の設置について	市議会に「議員定数等調査特別委員会」を設置するもの 定数：22人 審査内容：本市議会議員の定数等に関する調査・研究				○	×	×	×	×	否決			
議員発案第2号		最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について	最低賃金の地域間格差を是正するため、最低賃金法を改正し、全国一律最低賃金制度にすることなどを要望する意見書を提出するもの 提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、中央最低賃金審議会会長、新潟労働局長				○	○	○	○	○	原案可決				
〔請　願〕																
請願	請願第10号	最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める請願	最低賃金の地域間格差を是正するため、最低賃金法を改正し、全国一律最低賃金制度にすることなどを要望する意見書の提出を求めるもの			経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	採択				